

久枝地区タウンミーティング

平成24年7月26日（木曜）

【市長】 皆さんこんばんは。今日は平日の夜間でお仕事がある方も当然いらっしゃったかと思えます。お疲れのところ、このようにたくさんの方が集まっていたかましてありがとうございます。私就任いたしまして始まったのがこのタウンミーティングでございます。なぜやりだしたかという、ルーチンって言いますけども、決まりきった仕事もあるんですけど、そうじゃなくて私たちのほうが出ていこうと思いました。市役所で皆さんが来られるのを待ってるほうがどっちが楽かって言うと市役所で待ってるほうが楽だと思えます。そうではなくて私たちのほうから地域のほうに出て行って、そして各地区の魅力や課題について教えていただこうと思いました。これがタウンミーティングでございます。松山市は公民館本館で41地区に分かれます。この久枝地区のタウンミーティングは41地区中29地区目ということになります。ご存知の方もいらっしゃるかと思えますが、私は久枝地区に住まいをしておりますので、ちょっと特別な感情が今日しております。さてもう一つ、我々が出ていこうというだけではなくて、このタウンミーティングは、以前政府がやったタウンミーティングがありましたけれども、そういう政府のやったタウンミーティングとは違まして、ここで答えをできることはできるだけここで答えをいたします。また、財政的な問題があるもの、国と絡むもの、県と絡むもの、こういうものは、この場で答えれないこともありますのでいったん持ち帰らせていただいて1カ月をめどに必ずお返しをする、地区に返答しますというのが松山市版のタウンミーティングの特徴。やりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないというのがこのタウンミーティングの特徴でございます。松山市の仕事というのは本当に広範囲に及びます。このタウンミーティングは私だけでなく担当の部長、企画官、課長が来ておりますのでそれぞれ担当を紹介いたします。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好と申します。このタウンミーティングを統括いたしております。普段の仕事といたしましては窓口におけるサービス、例えば市民課とか、22支所7出張所、市民サービスセンター、パスポートセンター、そういったところで市民の要望に応じております。そのほか、地

域における住民主体のまちづくり、平和行政、男女共同参画、こういう幅広い仕事をいたしております。今日はよろしく願いいたします。

【社会福祉担当部長】 皆様こんばんは、保健福祉全般を担当しております、社会福祉担当部長の大濱でございます。本日はよろしく願いいたします。

【都市政策課長】 皆様こんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、また公園等の整備および維持管理を行っております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

【下水道政策課長】 皆様こんばんは、下水道部下水道政策課の青木でございます。下水道部では公共下水道の整備、河川、下水排水路の整備、また、がけ崩れ防災対策事業などを所管しております。今日は皆様の声をよく聞いて帰りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【教育委員会企画官】 皆様こんばんは、教育委員会事務局渡部と申します。松山市立の小中学校をはじめとしまして学校給食、公民館など、教育委員会全般の業務です。よろしく願いします。

【消防局企画官】 皆様こんばんは、消防局の岡本と申します。消火救急救助、自主防災組織、また消防団も担当しておりますので本日はどうぞよろしく願いいたします。

【市長】 という今日は6名でございます。さて、タウンミーティングは、まず最初に各地区の魅力について話をさせていただいております。そしてその後、課題点、問題点を教えていただいておりますけども、まずなぜ各地区の魅力について教えていただくかということ、先ほど松山は41の地区に分かれますと申し上げましたが、その地区の魅力を一番知っているのは誰でしょうか。そうです、そこにお住いの皆さんがやはりその地区の魅力について一番ご存知だと思います。一番よくないまちづくりが、行政が主体になってまちづくりをやってしまうと、41地区同じような、言ったら金太郎あめのようなまちが41できてしまいます。そうじゃなくて各地区には各地区の歴史があり魅力がありますから、それを活かしたまちづくりをしていただくとその地区はより輝く。そしてその41の集合体である松山市はより輝くということが言えますので、まず皆さんでその地区の魅力について共通認識を持っていただこうと思っております。また今日は90分間という時間ですので、肩ひじ張っていると疲れてきますので、どうぞぎくばらんに

日ごろの考えていること、思っていることを教えていただいたらと思っております。最後になりますけども、このタウンミーティングの開催にあたりましては久枝地区広報委員会の横江会長さんをはじめ役員の皆様のご協力をいただきました。今日はどうぞよろしくお願いたします。

【男性】 久枝の魅力、久枝の現状について説明させていただきます。久枝地区は松山城の北西の方向にあり、東西約2キロ南北約4キロの長方形の形をしており、かつてはのどかな田園地帯でしたが、市街化区域に指定されてからは南は住宅地域、北は農業地域、中央付近には工場が立ち並ぶように変貌してきました。バイパスや県道が縦横に走り、多くの企業をはじめ学校、病院、マンションや住宅などが立ち並ぶまちとなりました。人口が増え交通の便がよくなったこともあって、住居を求めてくる人々が多くなりました。ちなみに平成24年の世帯数は6,064戸で人口は1万9,795人と増加しております。このため公民館が主体となって、新旧住民の交流を図るための地域活動が大いに盛り上がっているところであります。

次に地域活動について説明します。一番目に学社融合についてでございます。久枝地区には2校の小学校があり、両校とも5年生を対象に稲作体験塾を実施しております。個人所有の田んぼの提供を受け、まずれんげをつくり、満開の花の咲いたれんげの中で自由に遊び回る子どもの笑顔は100万ドルの笑顔といえます。この後、田植え、かかし立て、稲刈り、餅つきなどを行います。これらすべての行事に地域の老人クラブ、女性クラブ、保護者、その他の協力によって行っております。また、小学校では学年ごとに地域との交流会を持ち、昔遊びなどで世代交流を深めております。

二番目にふるさとづくり地区大会、文化芸能祭でございます。地区住民のエネルギーをよせ集め、生涯学習のふるさとづくりの楽しさや必要性をアピールするため、参加者それぞれの力作を展示し、お互いに作品づくりの苦労や完成の喜びを話し合いふるさとづくりの一助としております。

三番目に体育祭とウォーキングでございます。地区住民が体育およびレクリエーションを通じて健康で明るい生活を営めるよう、体力づくりと相互親睦のために実施しております。体育祭は各分館対抗で17種目の競技を行います。成績のいい分館ならびに個人は松山市の体育祭に久枝代表として参加しております。ウ

オーキングは久枝健康ウォーキングと名づけ、老若男女約500名の参加を得て約7キロを目安に歩いております。道後公園あり、松山城あり、和気浜や総合公園などにコースを決めております。目的1では弁当、お茶、参加賞を渡し、みんなで弁当を食べながら親睦を図っております。弁当は地区女性グループの協力を得まして前日の材料の準備、当日は早朝から500個の折り詰め弁当をつくります。この折り詰めには地域特産の空豆の甘煮を入れ、地産地消もアピールしております。

四番目に文化と伝承でございます。毎年10月7日の秋祭りに安城寺のみこしは町内巡行が終わると川狩りの神事を行います。何百年か続いたこの川狩りの起源はつまびらかではありませんが、久万川でみこしを洗い清めるといふ神事は続けられてきました。この川狩りを久枝小学校4年生が地域に伝わる文化として学習し、体験するため川狩りの保存に努めている安城寺町安勝会^{あんしょう}の皆さんの指導を受け、子ども川狩りとして夏休み前の1日を大人同様の川狩りを行っております。以上、久枝における住民の活動状況の一端を紹介しましたが、各事業に地区の住民がこぞって協力して地域の活性化が活発に行われております。松山市におかれましても久枝地区の発展にご指導ご支援をお願いいたしまして、私の説明を終わらせていただきます。

【市長】 はい、私も久枝地区の住民でありますので、川狩りはいいなと思います。昭和42年までは川でやってたんだそうですけども、だいぶ川が汚れてたそうで、ちょうど2000年に復活をしたそうです。先日も、7月ですかね、子どもたちが川狩りをあそこでやったのを新聞記事でも拝見をいたしました。で、川狩りも私いいなと思いますし、まだ好きなのが、私は実家が北条なのでどっちかいうたらちょっと田舎の人間なんですけども、久枝、私の住んでるあたりは、ある程度住居もあって田んぼもあって畑もあるんでちょっとほっとするんですね。そういうところが私の久枝の好きなところでもありますし、もう買い物が便利です。本当にスーパー一つあっても便利なのに、そういうスーパーがいくつもある。女性の立場からすると値段の比較ができたりしていいんですかね。そういう買い物に便利なところもまた好きなところですよ。私が好きな方がいまして、実はあのポンジュースの工場に入ると、桐野忠兵衛さんご存知ですかね、銅像があります。私今まで銅像だけ知ってたんですけども、資料を見るとポンジュース持ってるそ

うです、銅像が。桐野忠兵衛さんは実はあのポンジュースの生みの親でいらっしゃいまして、大変な指導力でミカン、かんきつの生産を盛んにした方ですけども、偉いと思います。昭和26年、今から61年前にアメリカに行ってジュースを生産しているところを見て、それをヒントにポンジュースの生産を考えたという方ですから、61年前にアメリカ行くいうたら、今でさえちょっとアメリカ行こ思たら大変やな思いますけども、61年前にアメリカに行っていいものをいいととらえて、それを早速日本で広めたというのは素晴らしい方だと思って。このポンジュースがあるっていうのも宝なのではないかと思っております。また皆様から何か久枝の魅力がありましたら教えていただきたらと思います。あれちょうどぎりぎりになるんですかね、伊予かすり会館があるのもまた宝だと思います。私が着ておりますのは、今年伊予絣の組合さんが銀天街のお店と共同でつくったクールビズ用の伊予絣なんですけど、この裏に伊予絣があります。嬉しかったんで今年のクールビズの期間中はずっと着ますと言ったんですけど、なぜ嬉しかったかという、伊予絣ですから、組合さんはできるだけ使いたかったと思うんですけど、伊予絣を、そうなると伝統工芸ですからちょっと値段が高くなっちゃうんですよね。ですのでマーケット、市場のことも考えて部分に抑えて4,900円という価格で売り出されましたので、それを粹に感じて、民間が動いてくれると粹に感じて、私今年のクールビズ期間中はこれを着ることにしたわけです。ですので、伊予かすり会館があるのもまた魅力なのではないかと思っております。では課題のほうに入っていきます、また共通認識を持っていただきたらと思います。

【男性】 水道事業の件について、お尋ねしたいとか問題提起したいと思います。3月の末に松山市の企業局がフランスのヴェオリア社と水道事業についての契約を結んだという報道を目にしました。その後、松山市のホームページなどを見ますと、これは新聞報道であるように全面契約ではなくて一部の、4地区くらいですかね、事業契約にすぎないんだということの説明がありましたんで少しほっとしているんですけども、ちょっと非常に気になるんですけども、そもそも水道事業というのは昔から、人間が生きるために水は万人が必要ですからずっと共同管理されてきたものなんですね。この考え方が2,000年前後から、世界的に水は商品ですから売り買いしていいんだという考え方が出てきました。そのあお

りを受けて世界のいろんなところで水道事業の民営化が試みられました。ご存知の方も多いと思うんですが、ことごとくうまくいきません。水道事業は民営化するんですけども、民の利点である競争原理が働かないんですね、事業体を独占しますから。そうすると民の別の面である利益をどうあげるかということだけが前面に出てきてしまいます。そうしますと結局、水道料金が利用者のことをあまり考えないで2倍、3倍に平気で上げていくとか、水質保全についてはあまり考えないと。水道漏れがあっても栓を絞ることによって見せかけで水漏れを小さくして、例えばロンドンでは上の階の人たちは全然水が出ない、そして訴訟を起こします。すると訴訟でかかる費用と水道のメンテナンスにかかる費用と便益効果を勘定して、裁判する人はみんなじゃないからこっちに払ったほうが安いということになると基本的なメンテナンスもやらない、こういうグローバル水企業が、日本にもやってきたということで私は非常に不安を感じています。基本的にいろんなところで試みられているんですけども、最初はおいしい話を持って来るんですけど、客観的に冷静に見れば、いろいろ問題を抱えている場合が多いわけですね。具体的にベルリン市の水道事業民営化に対しては、51パーセント市がそのまま保有して、49パーセントをテムズ社に任せただけですが、ひどい状況になっていきました。こういうことが行われるのは、やっぱり水という人間にとって必要なものをみんなで共同管理してみんなのものだから大切に節約してやっていこうとするのか、あるいは売り買いするというお金の論理、買わなきゃいけないから大切にするんだというものにしてしまうのかということが問われているように思います。今回確かに4地区だけの契約かもしれませんが、基本的な方向として、私はやはり公営で頑張っていたきたいという問題提起です。

【市長】 ご存じのように、フランスの業者との契約なんですけれども、すべて任せているわけではございません、ご安心ください。松山市が常にチェックをする形をとっております。全く松山市が初めてというわけではございませんで、他の都市での前例も見て判断をしたことですので、あまりご心配にならないでもよろしいかと思えます。これはしっかりと松山市がチェックをしてまいりますので、もちろん我々行政をする以上は安全安心が第一だと思っております。その根幹である口から入っていく上水道が何か不安があるようではいけませんので、そこは大事に大事に考えて判断をしたところですのでご了解いただけたらと思えます。

【市民部長】 ちょっと補足させていただくと民営化ではなくて民間委託ということで、本当に水はおっしゃる通り安全安心の根本ですので、そのあたりは十分仕様書、チェック機能そのあたりをきちんと押さえて、決して安全安心がおろそかにならないように、そしてなおかつ費用が安くなるようにということを心がけてやっておりますので、安心していただけたらと思います。今いただいた貴重な意見はきちんと担当課のほうへ重ねてお伝えさせていただきたいと思います。

【男性】 一部の方ですけれども、不法なごみ出しをされる方がおるんです。ごみカレンダーは無視、当然中もいろんなものが入っている状況が続いております。個人を特定はしておるんですけれどもどういった対応をしたらいいか。それが以前から町内に住んでおる方ではない。どっかの社員寮みたいな形にして数人の方が住んでおるんで、特にひどいのがペットボトル。当然ラベルもはがしてない、キャップもつけてないという状況で出しておるんで、ごみ収集車が持ち帰っていただけないと思って、前町内会長からも引き継いでおるんですけれども、中を調べましたら郵便物等もありまして、「ああ、あそこか」と言うんですけど何回か訪問して、不法なごみ出しはやめてください言うていったんですけど会えません。前の会長は「不法なごみ出ししているようですがルールを守ってちゃんと出してください」いうチラシ、そういうなんは入れております。私も4月から町内会長やっているんで、昨日もペットボトルの収集日でもないのにペットボトルを40個ぐらい出しておるのを全部キャップとラベルはがしよんですけど、そういったことを行政から指導はできるんですか。

【市長】 はい、わかりました。これは、まず指導できますかということですがと指導できます。もしお名前とかわかるようでしたら言うていただいたらこちらで担当課が対応ができます。それが一つと、ちょっと間違っ出て出してる方もいらっしゃると思いますので、そういう方のためには看板がありまして、それを市役所からお渡しをいたしまして看板を設置していただくこともできます。詳しくは担当から。

【市民部長】 大変苦勞されていると思います、よくタウンミーティングで同様な質問がたくさん出されます。本当に苦勞されているのがよくわかります。市の立場としては基本的には住民の方できちんと管理していただくというのがルールですので、違反シールを貼って置いていくことがあるんですけれども、それでもな

かなか通りがかりの人が捨てたり、あるいはルールを守らない人がたくさん出てたまってしまうと。そうした場合に清掃課に連絡をいただいた場合は、においがひどくなった場合とか、交通の障害になったりする場合などはそれは引き取らせていただく場合もあります。それから先ほど言ったどうしても守らない人、わかっている場合については、直接言うと人間関係とか近隣関係とかあって非常に感情的に難しい場合、相談していただきましたら排出先がはっきりとしている場合は清掃課のほうから適切に指導させていただきますので、個別に清掃課に連絡いただけないでしょうか。ごみ分別のチラシにも連絡先も書いておるんですけど、わからなかったらまた帰り声かけていただきましたら連絡先またお教えさせていただきます。そういうときに悩まないで、できることは一生懸命やらさせていただきますので相談していただければと思います。

【男性】 先日、新聞に出ておりましたが、商店街で、看板とかが路上で障害になっておるものを改めるといふか取りのけるというような趣旨で、個人の家についてもいわゆる車を車庫に出し入れするステップについてもというような趣旨であったかと思いますが、どの程度それを実行されるのか。併せて団地の中で、お互いが植えとる庭木の枝が隣越して迷惑をかけておる、境のブロックの上に植木鉢を置いたり、いろいろな障害が団地の中でいろいろネックになっております。そういうこと併せて市として指導とか改めてやるということがあるのか、そのあたり考えをちょっと聞かしていただいたらと思います。

【都市政策課長】 都市整備部でございます。ただいまの質問につきましては、道路と入り口の段差、これは明らかに市道上に設置しているものですので違反物です。そういった中で仮に事故があった場合には、当然設置者の責任になっております。市としましても道路上の危険物に関しましては撤去をお願いしているところではございますが、市内一円多くございます。なかなか現状はできてない状況ですけど、それはやはり個人が考えていただいて撤去していただきたいと思っております。また庭木とか枝が道路に出ている件ですけど、それらについても、道路管理課までご連絡していただければ、市で所有者に木を切っていただく方法もございますので、どのようなことでも結構ですからまたご相談していただいたらと思います。

【市長】 白石課長、逆に質問なんですけど、家に車入れるときに、どんと段が

上がってしまうので、鉄のただ斜めになってる車庫に入れるための板もあるし、プラスチックでひっかからんように全部こう斜めになつとるやつもありますよね。でもやっぱり公道上に出とる場合はそれはよくないんだという、なるほどね。

【都市政策課長】 基本的には民地側にスロープをつくってもらって道路と段差がなくなるようにしていただきたいと思います。

【市長】 例えばおじいちゃんとかおばあちゃんとかがつまづいたら、それは公道上に斜めの鉄板出しとったからそれがまずいんですよとなる、なるほどね。

【男性】 今のお答えで、車いすで生活の方が道路から敷地に入るのに段差があるというときにそういうものがなければ車いす通れない。境のコンクリート、これは私どものものなのか市のものなのか、それを削ってでもそうしなさいという意味にとっていいんですか。

【都市政策課長】 境界の問題今言われたんですけど、そこが民地の場合ですね、民地の場合は当然民が。官地の場合、今言われるようなバリアフリー、お年寄りとか足が悪い方とかいう場合も、そういう事例を教えていただいたら現場に確認しに行きますので。

【男性】 削ってもいいとかいけないとか。

【都市政策課長】 またご相談していただければ、具体的な場所を。現場見させていただけます。

【市長】 私の思うところですけど、今テレビや新聞で報道されたのはどちらかというところと街中のビルなどで看板がせり出しているというところが、どちらかというところと危ない。結構低いところに看板があるから頭が当たるとか、老朽化してて風が吹いたらどうなるんだとか、そちらのほうが危険度が高いと思いますので、個人的ですけども、どちらかというところと危険度が高いものから対処していくということになるかと思います。また植木鉢を道路に置いているとか、家建てたときに後退したはずなのに石を置いているとかいう例が松山市内にもございます。ほかの地区でもこういう話が出てるんですよ。これもほったらかしにしたいんですけど松山市内でモデル地区をつくりまして、どう解決していったらいいんだろうというのを今やり始めているところです。ほったらかしにするつもりはありませんので、公の道という意識を私も改めて感じたところですので、また皆様にご説明をしながら進めていきたいと思っております。また個別のことでわかりにくいこ

とありましたら都市政策課長に言っていただいたらと思います。

【男性】 今年度新しく自主防災会の避難行動を具体的に形にしたいと思って活動始めております。「とりもなおさず逃げる」というのをスローガンにやっしていきたいと今思っておりますが、並行して要介護の支援者の避難行動をどのようにするかということで、民生委員さんの意見を聞きながら始めたばかりですが、なかなか奥歯に歯が挟まってまして、はっきりおっしゃらんわけです。ということはどうも市のほうから口止めがかかると、それから消防のほうからも口止めがかかるとというような感じに私は受け取ったんですが、うまく進めていくためには手っ取り早い方法から、私はできることから始めたいと考えておきまして、要介護の問題を後回しにするというのじゃないんですけど、これは私の手に負えないんだらそちらをほっといて、災害が起こるまで待てとかと極端な話ですがそう思ったりもするわけなんです。決して見殺しにするんじゃないんですけども、皆さんにご協力いただきながらやっていくにしては、個人情報、プライバシーが優先されていると非常に強く私は思います。個人情報よりも優先せなならん地域のコミュニティという観点から言いましても、やはり環境整備を、もう少し市のほうで明確にさせていただくのを私はぜひアドバイスをいただいてことを進めたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 はい、ちょっと私が前段階だけ。これは、今おっしゃったことはまさに大事なことでありまして、皆さん少子高齢化って聞かれると思えますけども、高齢の方が増えていく、その中で大災害が起こるのではないかと心配されている。支援を必要とする方にどう逃げていただくかが大事なポイントになっていくわけです。中にはお年寄りがあんまりプライバシーを明かしたくないという方もいらっしゃる、私たち行政にとっても悩ましいところですけども、社会福祉担当部長から。

【社会福祉担当部長】 社会福祉担当部でございます。個人情報のことと災害時要援護者の取り扱いについては私どもも今市長が申しましたように悩ましいところがございます。ただ昨年、23年度、松山市として個人情報の取り扱いについて1年をかけて協議をしてまいりました。そういった中で外部の人のご協力もいただきながら、弁護士さん等も入っていただきながら審議をした結果で、最終的にはこのことについてモデル地区をつくって、ある一定の場所でモデル的に本当

はご本人から情報をいただいたということでご提供するということも含めて、逆に情報を出したくないという方についても一定、災害のことを考えるとそういう人たちの情報も含めて民生委員とか地域の自主防災組織とかいったところに平時から提供しておくことも現在考えて、現在モデル地区で進めております。こういったことで皆さんのご理解をいただけるようであれば、これを市内全域に広げてまいりたいと、その前段階として個人情報の取り扱いについても協議をしておりますのでもうしばらくお待ちいただいて、そのように提供してまいりたいと考えておりますのでご理解を賜って、時間はちょっとかかりますけど、そういった方向で今進んでいるといったことをご理解をいただいたらと考えております。

【男性】 道路問題で一点お伺いしたいと思いますが、すぐその久万ノ台団地でございます、50年になります。団地というのはご承知のように造成した方が田んぼを埋めたり畑を埋めたりということで、大体造成地の周辺というのは田んぼなんです。そこへ碁盤の目のような道路が入ってきます。私どもの町内ですが来月から下水道工事をしていただくということで非常にありがたく期待をしております、本当にありがとうございます。たちまち道路を掘り返して管を埋めて各家庭から引いていく作業になりますが、ついでには団地内の中央部だけが松山市道になっているんです、もちろん舗装しております。それから突き当たった部分の10メートル、20メートルは私道になっております。そういうところが各所にあります。それで私道のほうは掘り返したり、管理めたり、また舗装したりするのも、市道とは違います、私道は勝手にやりなさいと。ただ私がお伺いしたいのはせっかく、団地の中になっておるのにどうしてその延長、端まで行かないのか。突き当りの部分というのは要らないから松山市にあげますと言っても松山市も要らないというわけです。私道ということになりますと舗装にしたって、下水道の配管にしたって、補修にしたって自分たちでやらなくてはいけないという原則になってしまいます。そこらで私の家の前も私道になっちゃうわけです。どうしたらいいのかなという感じがしております。ただ、こういう方法があるということをお伺いをしました。例えば5軒あって2軒以上の方がオッケーすればやってあげますよとか、そういう方法論としてはわかるけど、どうして道があるのに向こうまで舗装しないのか下水を埋めないのか、どうしても合点がいきません。本人が市にあげますと言っても市はそれを困るという感じなんです。私道と松山市道との

関係、特にこれは団地町内会では各所で頭抱えている問題じゃなかろうかと思っております。たちまち私の場合来月から困る、頭抱える問題であります。

【都市政策課長】 道路は松山の市道と私道ということであると思いますが、まず道路というのは不特定多数の方が通る道でございます。そこで一番重要なのはやはり道路を一般の方が通行したときに安全ということ。安全を確保するために今、松山市道におきましては市道の認定基準がございます。基準の中で行き止まりの道路は、行き止まったらまたバックして帰らないといけないという条件の中で市道にはなっていない状況です。方法論としては非常に難しいんですけど、例えば端部に回転場所をつくるとか、現実的には難しいと思いますが、そういう方法であれば市道認定は可能です。ただ今回6月議会の委員会でも市道の認定につきまして緩和できないかと意見がございまして、私どもの方で今いろいろ調査をして、研究させていただいております。ただそれがすぐ松山市道になるかといったら非常に難しいんですけど、他市の状況とか把握しながら研究させていただいておりますのでよろしく申し上げます。

【市長】 私道でも舗装とか下水道の整備ができるかどうかについてはどうですか。

【都市政策課長】 今言われた舗装については一定の条件がございます。それがクリアできれば舗装はできます。

【下水道政策課長】 下水道の整備についても本管同様に、私道で申請いただければ一定要件はございますけれども市で対応させていただくようにしております。

【市長】 何かまたお困りのこととかありましたら道路管理課のほうにご相談していただいたらと思います。

【男性】 久枝地区で多い町内では1,500戸を超えるような一つのグループ、それから小さな100に足りないような団地、そういうようなのが一つのグループで地区の体育祭とか市民大清掃でのごみの集積場所ということで、そのときの説明で私の場合西長戸非常に長いということでごみを集める場所も4カ所ぐらいで集めましてそれを1カ所にしてくれと、小さな団地の場合はそういうことでも結構なんですけど、そういう場合は隅から隅まで行きよったら非常に長い距離になるんではないかとやったんですが、そういう問題点をちょっと提起したいと思うんですが。この前自主防災の通達が回覧で回ってきて読みましたら、どこの団地だ

ったかでは六十数戸の団地で自主防災の訓練に三十数戸参加された。それから久万ノ台のほうでは1,400くらいで出席されたのが二十数名だと。一つの団体が1,000戸を超えると、限られた人しか参加できない、もし参加するとしてもそういう会場もないし、そういう状態なんでその辺一つの町内会とか団地をつくる場合、これからも新しいニュータウンできたら100に足らんような団地ができて新しい町内会もできようかとも思うんですが、その辺を松山市全体として、久枝地区だけじゃなしによそでもそういう小さな団体と大きなマンモスの団体があるのがどうか。それをできたものはしょうがないんですが、これをほっとくのかどうか。長い将来になったら、小さな団地も合併せんとどうにもならないんじゃないかと思うし、町内会としたらいい場所だったら1,500戸以上あるのがまだまだ人口も増えるかそのあたりはわかりませんが、そういうような大きなところ小さなところできとる。そういうようなことについて将来どのようなお考えがあるかお聞きしたいんですが。

【市長】 はい、わかりました。まず市民大清掃のことは皆さんご協力をいただきありがとうございます。まず一つ一つ行きましょかね、町の区割りというようなことで2つの問題点をいただきましたけども。まず市民大清掃のことから行きますかね。

【市民部長】 今のまず一つ、ごみの集積所。広い地域で特に久枝は2万人のところですから大きな地域なんで、小さなところとごみ集積場所同じだったら困ると、おっしゃる通りでございます。これにつきまして、きちんと責任者の方が公民館等、そのときの中心となっている団体と話し合っていて、決まった結果を清掃課に教えていただいたらすぐに対応するという答えを確認しておりますので、また次回、来年、去年は3カ所しかなかったけど今年はこの話し合いで5カ所に決まった、それはこことこことここですよ、みんなで相談しましたよということをお願いいただいたらすぐに対応させていただくという答えを確認しておりますのでよろしくお願いいたします。次に地区の体育祭ですかね。

【教育委員会企画官】 教育委員会です。体育祭についてご意見ございましたけども、最近、体育祭、人集めるのに非常に苦勞されておるとい話が多い中で、もっとチーム数を増やしてもらえないかというご意見は我々としても非常にうれしく思っております。ただ体育祭は公民館が主催で、各地区ごとに運用方法を協

議していただいておりますので、参加チーム数にしましても公民館が行う体育祭につきましての会合の中で協議をしていただいたらと思いますのでよろしくお願い致します。

【女性】 すいません、西長戸から北中のPTAとしてまいりました。先ほど発言があったと思うんですが、私の自宅はみどり小学校、北中学校っていう地域です。西長戸町自体は久枝小学校とみどり小学校に2つに分かれています。町内の行事は西長戸町としてやるということで参加はしてるんですけど、行ったら知らない人ばかり。盆踊り大会にしても練習に行ったら知らない人ばかり。大体2対1くらいの割合で久枝のほうが多いかなっていう印象があるんですけど、昔は皆さん久枝小学校の卒業生で顔見知りばかりみたいないい地域だったと思うんですけど、みどり小学校ができたときに分けられた形が西長戸真っ二つなので、町の活動に行ったときに何もおもしろくなくて、だんだんとそういう人が多かったせいか、町の運動会に行ってもおもしろくないですし、だんだんと減ってきたという印象なんですけど、それがとうとう今年は運動会がなかったんです。1,500戸あるって聞いたんですけど、この中で役をしてくれる人が全然いなくて、この4月は決まっていたのは青少年教育部と少なかったですよ、全部は決まらなくて、簡単な分だけ決まってる主事さんと公民館長と会計不在の中でスタートしたっていう、だったと思うんですけど、本当に私は6年間青少年教育部させていただいたので、次の人本当に探したんですけどいませんでした。嫌だと言って見知らない、大きくなりすぎておもしろくないっていうか逆になり手がいないような町になってしまったので、本当に区分けのことについては、小学校で分かれてしまったので、北中でまた会えると言ってもそのときはすでに遅しで、このあたりが悩ましいなというので今後の対策何かあるのか、何かしてもらわないと住んで、ずっと私は住むつもりなので、やっぱり老後も社会とつながっていきたいので何か手立てがないか、よろしくお願い致します。

【市長】 はい、これについてはまず学校の校区割りですよ、どのようにして行われたのかというのを。

【教育委員会企画官】 はい。小学校、中学校もですけど、小学校につきましてはもともと久枝小学校1校だったものが、平成2年に過大規模校の解消ということでみどり小学校が新設されました。それから北中学校のほうが1年早くて平成

元年に鴨川中学校分離ということで北中学校が新設されたと。それに伴いまして通学区域の調整審議会で、学識経験者とか保護者代表、PTA連合会その他公民館連絡協議会、社会教育委員、民生児童委員会協議会、小中学校長会などで組織されました審議会です。十分審議された上で、答申をもとに校区割を実施して現在に至っております。ただ現状としては若干児童数が減少しておる関係もございまして、平成15年度からは隣接している学校であれば希望があればということで弾力化は実施しております。現状としては以上です。

【市長】 はい、これについては、以前清水地区のタウンミーティングでも同様なことがありました。近所の子なんやけどもある子は清水小学校に行って、ある子は東雲小学校に行くんでちょっとばらばらな感じがあるんだということがありました。ちょっと検討課題とさせていただきたいと思うんですが、今回については、今、皆さん本当につながりのない時代になってしまっていますよね。少子高齢化と申し上げましたけど、高齢の方も地域でケアができるとか、少子でいうと子どもも、私ら小っちゃいときは近所のおいさんおばさんが怒ってくれたりしたじゃないですか、そういうのがもうなくなってる。とにかくつながりのない社会になってきてます。そういう中でちょっと通学区域の問題もそうなんですかね、コミュニティを、つながりをつくる上で阻害要因になってるんだったら、ちょっとこれは考えなくてはならないかなと。通学区の区割りもそのときはしっかりと審議会もして、こういう区割りでいきましょうってなったんでしょけど、時代の変遷もあると思いますので、これは持ち帰らせていただけませんか。すぐに1カ月で全市的な問題なのですぐに答えが出ないかもしれませんが、私たちも気持ちは同じでもっとつながりを深めた松山市にしていきたい、孤独とか個人、「こ」が言われる世の中になってきましたけど、コラボレーションとかコミュニティとかそっちの「CO」の「こ」にしていきたいと思っておりますので、ちょっとこれはいったん持ち帰らせていただいたらと思います。特につながりのある世の中に戻したいと思っております、確かに校区が違くと初めて会うからなかなか話しにくかったりすることなんかもあると思うんですけど、各地区が集まる運動会とかでまた顔合わせるようなこととかあったらそれもまた話すきっかけにしてみたいと思いますし、運動会とか文化祭とかそういう機会にまたつながりを求めていってもらえたらと思うんですけど、ちょっと難しいところがあると思

ますので持ち帰らせていただいたらと思います。

【女性】 失礼します。うちの町内に空き家がたくさんあるんですけども、ちゃんと所有者わかってるところは仕方ないんですが、所有者が全然いないっていうか、訪ねていっても個人情報に阻まれたりしてそれ以上わからないっていう感じで、空き家っていうかあばら家になってるんですが、前、町内の会長さんとかと一緒に市役所の無料相談とか裁判所とか法務局とか行ったんですけど、持っている方は岡山のほうで亡くなって、長年親類の人が住んでた方は4、5年前に亡くなって、遠縁にあたる方が2人くらいいるんですけども、住んでるコーポまで訪ねていったんですがもう個人情報に阻まれてそれ以上は部屋も教えてくれないという感じでそのままになっているんです。それで放火されたりとか、そこから虫がわいて近所に迷惑がかかってからやないと市は動いてくれないのかとか、固定資産税っていうんですかね、そういうのは市は取れないところからは取らないのか、もう4、5年たってるのにそのまま放っておいていいのかということでもちょっと疑問に思ったり不安に思ったりしてるんですけど、よろしくをお願いします。

【市長】 空き家は何とかならないのかということと、固定資産税のこと出ました。

【都市政策課長】 空き家対策、危険とか老朽化して危ない空き家も年間数十軒問い合わせがございます。窓口が建築指導課ですので、また後ほど具体的な場所を教えていただきたいと思います。

【市長】 例えば危険度が高い場合は、何か市としてすることはあるんですか。

【都市政策課長】 市としては所有者を調べて、所有者に撤去をお願いします。これ今全国的な問題になりましていろんな都市においては条例化とか、例えば強制言うたらおかしいんですけど監督処分と言いますか、市のほうで何とかするというふうなところもございますので、そこまでは今、現在、松山市では条例化までは考えてないんですけど、そういうことに対して、指導なりはやっていきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

【市民部長】 税金についてですけど、具体的な相続関係とかそういうところがわかりませんので一概には言えないんですけど、まず、通常の家があった場合土地、家に固定資産税がかかってきます。その方がもし滞納した場合は滞納先を調査して、すぐに相続できない場合についてはどなたかとわかりませんが、そのあたり時間かけてきちんとその税については徴収に行きますのでその点をご安心

ください。

【女性】 4, 5年たっておりますけど。

【市民部長】 払ってるかどうか、お答えしにくいんですけど、税としては、時間がかかっても徴収する仕組みになっております。

【市長】 税金を払ってるかどうかわからないけれども、場所はおわかりなんですよね。後で、都市政策課長に伝えてもらったら、我々8時半で終わってすぐ帰るわけございませんので、そのあとの時間も有効に使っていただけたらと思います。ちょっと今のところで、今日、7時から始めさせていただいて皆さんから意見いただいておりますけれど、例えばごみの指導ができないのかということ、清掃課でできます。空き家を何とかしてくれないのか、住宅課でできます。道路のこと、道路がちょっと穴ぼこができとんじゃとかありますけど、どうぞ相談してください、皆さんで抱えないで、そのための市役所ですので、こんなことなんやけどどうでしょうか言っていたら担当に振り分けますので、そして担当からまたお返しができますので、どうぞ抱えないで市役所のほうに相談していただけたらと思います。

【男性】 久枝校区に小学校が2校、中学校が2校、一貫の中等教育学校が1校ございますけれども、これらの通学路の関係で、白線が、横断歩道、路側線、停止線とかいろいろ標示がございますが消えかかったりとか擦り減ったりとか、見ても大変見づらく悪いということですが、それ以上に、交通の標示ですので、はっきり明示化してほしいと思いますけど、それ先ほど住民のやることと司会の方言われましたけど、いちいち我々のほうからここ悪いんですけどという話すればいいんでしょうけど、それを受けるほうも大変でしょうし、所管が警察の所管と行政の所管と分かれております、そういう関係ですので、一つの提案ですが、シルバー人材センターへこれらのパトロールといいますか、見られる人を委託して、市全体の、ここら辺は薄くなってますよ、塗り替えないけませんよというのはわかることやし、できるだけそういう形で自動的に薄くなれば明示化するように配慮はできないものかというお願いです。それから、これは予算の関係が多分あると思いますが、先日、警察のほうもお伺いしてお話も申し上げたんですが、「予算がねえ」ということでありました。しかしこれは皆さん通学路のことについては懸念しているところですので、行政の中で警察の分も、別にやっても怒られる

ことないと思うんですけど、ぜひ市の予算の中で横断歩道の部分もやれるように、連携して、住民は警察の住民と、市の住民と分かれておりません、住民は一つでございませんで、そのあたり連携をもってお願いできないものかなというものです。

【都市政策課長】 今の連携ということですけど、松山市に言っていただいたら、警察の部分については警察にお願いします。松山市道でも警察の規制に関することはできませんので、それは私ども窓口に言っていただいたら、さっそく連絡します。なお、松山市におきましても、今松山市道が約1,700キロございます。それを今3台でパトロールを行っています。ですからどのようなことでも構いません、直接パトロールでわかることは早急に対応するんですけど、また、お気づきの点がございましたら、先ほど市長が申しましたようにどんなことでも構いませんからご連絡していただいたら、できることはやっていきたいと思えます。

【市長】 私から、予算の話が出ましたので、松山市の財政のことについてご説明させていただこうと思えます。行政のありようのことについてお話をいたしますと、市、県、国、警察って大きく分かれるんですけど、私も一市民から出た人間ですよ、市じゃろが、国じゃろが、県じゃろがそんなんわからないんですよ、これ多分市やなかろうかと電話して、県のことですから県に電話してくださいというのは基本的にしません、させません。市で受けて、県のことだったら、私どもから県に連絡をいたします。ただ、これ縦割りではなくて、こういうふうにしてほしいというのは直接言っていただくほうが一番伝わります、ですので、逃げてるんじゃないなくて、市からも県のことだったら伝えるんですけど、直接言っていただいた方が、「そんなぎょうさんのこと言よるんじゃないんよ、これだけのことしてくれたらええんよ」という、皆さんでどこで納得できるかというのがあると思えますんで、そういうのは直接伝えていただいたほうがわかりやすいと思えます。で、予算のことでお話をさせていただくと、よく厳しい財政と言いますけど、おかげさまで松山市は中四国の中で2番目にいい財政状態だと言われております。一番は徳島県の阿南市、青色発光ダイオードの大きな会社があるものですから、そんなに大きな市ではないですけど、大きな会社があることで、法人税収入がたくさん入るということで、財政状況が一番いいということになっています。松山市は2番目にいいと言われていますが、そんな松山市でも、1年で出ていく

お金を歳出といいます。入ってくるお金を歳入といいます。円グラフを書くとうわかりやすいのですが、この1年間で松山市から出ていくお金のうちで一番大きなウェイトを占めるのが民生費、いわゆる福祉にかかるお金です。これが40パーセント占めています。松山市だけで、1年だけで、平成22年度と23年度の比較になりますが、松山市だけで50億円増えた。松山だけ、1年だけで50億円増えたんです。その中で、皆さんよく聞かれる生活保護費、生活保護費の不正受給なんかされたらたまらないんですけど、適正にやっております。この生活保護費が松山だけで1年間で20億円増えたんです。松山市だけが特別というのではなくて、日本全体不景気ですから、で、中学校のときの勉強思い出していただいたら、国から国庫支出金とか地方交付税交付金という形でお金が回ってきてます。ところが国は1,000兆円の借金を抱えているといわれています。大元がそれだけの借金抱えていたら、国庫支出金とか地方交付税交付金といったって、地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えられない。ですから、50億民生費が福祉にかかるお金が増えたならばどこかで50億絞らないといけない、生活保護費が20億増えたならばどこかで20億絞らなければならない。それをしないと財政のバランスは悪くなります、今、松山市だけが特別悪いわけではなくて、財政状況がいいと言われている松山市でもこんな状況です。私はこの立場をたいて財政をお預かりしてますけど、こうやってタウンミーティングして皆さんからいろんな要望いただきます。私も人間ですから、これしてさしあげたいな、これやりたい事業だなと思うんですけど、こうやって皆さんから意見をいただいて、要望聞かせていただいて、優先順位をつけてまいります、何もしないというわけではございません。皆さんの要望聞いてこれしたいな、思うんですけど、何もかもできる時代じゃない、以前の高度経済成長の時代だったら、税収もどんどん上がっていくから、その当時は箱物と言っていろんな建物できてたと思うんですけど、今はそんな時代じゃなくなってしまった。少子高齢化、子どもが少ないですから、将来働いてまちづくりのエネルギーである税金を払ってくれる人が少なくなるということです。ですから以前のように郊外にどんどん道を延ばす、下水道を延ばす、そうするとつくただけでは終わりません、維持管理が要ります。ですからものをつくるには慎重な時代になるし、いろんなことができる世の中ではなくなっているというところなんです。これを言うと皆さん手が挙がりにくくなったりする

んですが、皆さんからいろいろな意見を聞かせていただいて、今何をすべきなのかという判断材料にもさせていただきたいと思いますので、財政はこういう状況ですけど、どこかで膨れたならばどこかで絞らなければならない状況にあるということをご皆さん知っていただけたらと思います。

【男性】 自主防災の関係で、先ほども出たんですが、最近空き家が増えてます、それから空き地も増えています。高齢化が進行してひとり暮らしが多くなってますんでそのあとを継ぐ人がいない、あるいは維持管理を任されてもその人が事実上管理をできないという状況の私有地が非常に増えています。私が住んでいる地区六十数世帯の中でも数世帯そういうところがあります。所有主というのは亡くなっているか、別のところに住んでいるわけです。土地だけ持ってるわけですね、そうすると普段の生活状況はわからないんです、ところが周辺に住んでいる我々は例えば災害が起きたら空き家がどうなるんだろうとか、この空き地が草ぼうぼうになってるけど、これはかえって危ないんじゃないかとか、そういう問題を抱えているわけです。これは市にどうこうせよという問題では実はなくて、皆さんに問題提起ですけど、管理されない、管理されにくくなっている私有地についてもっと公共的な利用を考える検討を進めてみてはどうかということをご問題提起したいと思います。このままだと住民たちが災害をこうむるわけですね、それを有効利用すれば災害時に避難地になるかもしれない、そういうことをもっと前向きに考えられないか、それは所有者にとってもマイナスにはならないと思うんです、ただ、我々がそこにかかわるとなれば労力が必要です、それを前向きに考えることはできないかと私は思います。こういう話をするとは私有地なんだからその人の責任だというんですね、その人はそこにいないから責任とかかわらないんですね、しかし、そこで嫌というほど問題を味わっている我々がもっとかかわることができるような住民からの働きかけ、それから市のほうとしては何かそういうことをやりやすくするような仕組みづくりがもしあれば検討していただけないかと思います。

【市民部長】 今のお尋ねに対して、すぐにお答えは持ってありません。例えば空き地で危険な場合については、住宅政策でやる場合もありますし、安全安心という面から防犯協会とか警察に相談する場合あるんですけど、包括的に住民と一緒にということになると住民が連携して課題を解決する組織、今、松山市では地域

におけるまちづくりでまちづくり協議会を設立していますが、そこで問題を共有して一定の解決を行政と一緒にやっという方式もありますので、このあたりの検討もしていただきたいと、今提案していただいたことは持ち帰りまして、いろいろな部署にかかわることですので、共有させていただきたいと思います。重要な問題ですので持ち帰らせていただいて、何らかの形で方向性だけでもお答えしたいと思っております。

【男性】 先ほどの件は学校の通学路のことですので、そんなに費用のかかることではありませんので、どこかから工面ができると思いますので、市長さんが今言われた歳出の関係十分わかっております。どこも裕福な自治体はございません。一番大事なところへお金を使っていたきたいというのが言いたかったところですので、言い直します。

【市長】 通学路については、京都で大変痛ましい事件がございまして、それを契機に松山市内の通学路の緊急点検をしようということで今、しているところです。少子高齢化、子どもが少ない世の中でございます、その子どもたちの安全安心というのは特に守りたいところですので、しっかりとやっていきたいと思っています。

【男性】 私、犬好きでございまして、今の犬入れると10匹くらい飼っております。高齢者に関連づけてお願いするんですが、1匹14、5年飼ったら、百何万要るそうです。飼育費、年がいけばいくほど病院代が要りますんで。かつては犬は番犬だったんですけど今はペットでもございまして、ひとり暮らしの老人にとっては癒しになりますんで、なくてはならない相手だと思っております。そこで、松山市として保険制度をつくっていただいたら、1匹について月に1,000円か2,000円だったらお年寄りでもかけられると思います。病院に1回かかりますと7,8000円かかります。とても独居老人は払える額ではないので、ぜひ制度を検討していただきたいと思います。

【市長】 これは興味深い観点ですね、確かに今ペットは家族の一員だと言われるくらいで。これからこういう動き出るかもしれませんね。

【社会福祉担当部長】 難しいことを振られました、私も1年前に犬を初めて飼っております。今おっしゃられたことも危惧されましたので、犬の保険、民間の保険に入っております。種類によって金額違うんですが、私の中型犬について

1カ月安いところで2,500円から3,000円の保険ございます。これを行政が取り扱うことについては、全国的にも例がないと思います。ご意見はお伺いをさせていただいて、今後参考にさせていただくということでご了承いただけたらと思います。

【市長】 民間で保険あるんですね。ご質問なければ、渡部企画官、久枝小学校、みどり小学校、隣の学校行きたい場合はどういう仕組みになっているか説明をしてもらえますか。

【教育委員会企画官】 通学区域の弾力化ということで平成15年度の入学児童から住所地の校区の学校よりも隣接する学校のほうが通学距離が短い、そして安全に通学できる場合は、学校の受け入れ枠の範囲内で申請によって通学する学校を選択できるようになっております。入学前の11月中旬から下旬に所定の申請書を学校教育課に提出していただき、通学距離等の審査を経て変更が認められれば12月下旬ころに許可書が発行されます。

【市長】 よく各地でいただくご質問についてお答えをさせていただきます。久枝も近いのでわかりますけど、公民館が古くなっているんで建て替えをしてくれないかというの各地で言われるんですけど、これについてはまず耐震化ができていくかどうか一つの線引きになります。昭和56年に建築基準が変わっています。昭和56年より前に建っているものは耐震基準を満たしていない、56年以降は耐震基準を満たしているというのはおおむね言えますので、今、松山市の公民館に耐震基準を満たしていないところありますので、その耐震化を進めているところです。久枝公民館については耐震基準を満たしていますので、まずは、耐震基準を満たしていない公民館を先にさせていただきますということで進めているところです。下水道についてもよく言われるんですけど、松山市の下水道の計画が大きく2度にわたって変更されています。というのは、平成6年に策定されたのは年間に160億円を使って下水道を普及させていこう、平成32年度、つまり今から8年後には下水道の普及率を96パーセントにしましょうという大きな目標を立てていました。しかし平成6年ごろから景気が悪くなっていく、年間に160億円だったのを平成12年には80億円程度に絞りました。このままいくと財政圧迫してしまう、でもう1回、平成19年度には80億円と言ってたのを65億円、ですから、大元が160億円だったのを80億、65億と、全体のバ

ランスを見ながら、下水道計画絞ってきたというところがございます。皆さんの周りでもまだ下水道来てないよというところあるかもしれませんが、松山市においては、人口集中地区については公共下水道を、それ以外のところについては合併処理浄化槽の2本立てで、あまり全体の財政を圧迫しない形で公共下水道も進めていこうと考えていますので、よろしく願い申し上げます。

時間がまいりました。最後、結びとさせていただきますけれど、市長の人気取りから考えますと、こういう場で皆さんからの要望を、それやりましょう、わかりましたそれやりましょう、市長の人気取りでそれやりましょう言ったら、そちらのほうがいいかもしれません。でも私は自分の生まれ育った松山を将来の子や孫にもしっかりと引き継いでいきたいと思っています。財政がひっ迫しているので何もしませんというのではありません。皆さんからの要望は聞きたいので、こうやって各地区に出向いております。どうぞ、意見を上げていただきたいと思います。そして、優先順位をつけさせていただいて、今なすべきことを、松山市としてしっかりと考えて、していきたいと思いますので、皆様方今後とも、松山市役所に困ったことがあったら相談していただきたいと思います。長時間にわたりましてありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

— 了 —